

平成22年度 事業計画

財団法人長岡産業交流会館

ハイブ長岡（長岡産業交流会館）は地域のコンベンションセンターとして、開業以来高稼働率を維持しており、地域のコンベンション施設として定着しているが、市域の拡大や、同様施設の建設を控え、更なる当会館の周知と利用促進を図る。

1. 会館使用者への支援

- ・ イベント企画、運営業者やコンベンション関係機関、公的機関の担当部署等との連絡、協力体制を強化し、主催者の良好、快適な催事運営のため、企画段階からのサポートを積極的に行う。
- ・ 催事開催に必要な業務について、請負業者との連絡、協力体制を強化し、主催者の求めに応じて適切なアドバイスと行うとともに、適宜紹介、斡旋を行う。
- ・ 使用者のニーズにあったサービスを展開できるよう、職員の実務研修、研修会等への参加を積極的に行い、技術・ノウハウの蓄積に努める。

2. イベント誘致活動

- ・ 従来から行っている誘致セールスについては、引き続き長岡観光コンベンション協会と連携し行う。また、コンベンション誘致に関連した種々の会合にも積極的に参加し、当館の周知、宣伝に努める。
- ・ 当館は長岡リサーチコアの交流施設と位置づけられているので、地域内外の産業展示会等の開催・誘致をNICOテクノプラザ等公的関係機関と情報交換、連携の上行う。

3. 広報宣伝活動

- ・ イベント案内の作成・配布
- ・ 催事関連業界誌、地域誌、各種ウェブサイトへのイベント情報提供
- ・ 新聞紙上への広告掲載

4. 類似施設及び関係業界との交流・連携

- ・県内の同様施設間の情報交換については引き続き推進し、情報交流、意見交換を行い、催事開催時の連携・協力体制を維持する。
- ・良好な貸館業務に資するため、全国展示場連絡協議会、日本展示会協会等、関係団体や業界主催の研修会等に積極的に参加し、情報交換を行う。

5 . 施設・設備維持管理

- ・当館のグレードを維持し、顧客満足度の低下を防ぐため、大規模設備、内外装等の修繕、更新を、引き続き計画的に行う。
- ・使用者のニーズの高度化が著しい音響・映像機器等については、積極的に情報収集を行い、適宜リニューアルを行う。